

# 週刊アミューズメントジャパン

2月4日  
月曜日 2013

編集・発行所 株式会社アミューズメントプレス ジャパン 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-21-10 えびすアシスト5F TEL.03-5447-0555 http://www.amusement-japan.co.jp

●ファンイベント「衝撃祭」開催 アリストラートテクノロジーズ  
登場 ユニバーサルエンターテインメント  
●西陣 ●連載コラム 異論反論オブジェクション

4面 ●「ばちんこ冬のソナタFinal」で女性ファン獲得へ  
KYORAKU

7面 ●行政講話

## プロバグループ

# 遊技で「デイサービス」 介護福祉支援事業に参入

## 脳の活性化に効果

広島県を中心にホールを展開するプロバグループが介護福祉の支援事業に新規参入する。パチンコ・パチスロやカジノゲームなど「遊び」の要素を取り入れた新しい形のデイサービスだ。平本直樹社長は「プロバグループが培ってきたノウハウを活用し、介護福祉分野に貢献したい」としている。

プロバグループは現在、パチンコホールやゲームセンターのほか、ボウリングやカラオケなど幅広い展開している。この新事業は、プロバグループが既存のデイサービス施設にアミューズメントマシンを貸し出すとともに、アミューズメントに精通したスタッフたちを派遣し、介護施設の従業員や施設利用者たちに遊び方を教えていく。



プロバグループ 平本直樹社長

雅紀社長は「リハビリする楽しさやコミュニケーション能力の維持、社会的回復などにもつながるのではないか」と期待を込める。

パチンコ・パチスロは手軽で身近な大衆娯楽

株式会社アミューズメントプレスジャパン



施設利用者だけでなく働くスタッフも楽しむことができることもアミューズメントの利点だ



他の介護施設の関係者もパチンコ等を使ったリハビリに関心を示した



パチンコやパチスロで高齢者の脳は活性化。リハビリ効果が高いことが証明された

既存のデイサービス施設で行われているクイズや簡単なゲームによる予防やリハビリとは一線を画し、パチンコやパチスロ、メダルゲーム、ルールブックやブラックジャックなど、高度な「遊び」を提供する。指を使う、動きを予測する、考える操作するなど、ゲームを行うことによる直接的なリハビリ効果のほか、高齢者の居場所作りや新たな仲間との出会いなど、二次的な効果も見込める」としている。

リハビリや手伝いをすることで施設内通賃を受け取ることができるといったルールも導入していく予定だ。この事業を担当する同グループの村上

1月23日、24日には、諏訪東京理科大学の篠原菊紀教授を招き、「おかけり」で公開イベントを開催した。篠原教授が、施設利用者がゲームを行った際の脳の反応を測定。パチンコなどのアミューズメント機器が脳の活性化につながることを、あらかじめ数値で示した。

イベントには、多くのマスコミ関係者のほか介護従事者も多数参加。篠原教授の説明に熱心に耳を傾けた。ある介護従事者は「カジノゲームを使ったリハビリは考えたことがなかったが、実際に効果があると知って意外だった」と興味を持った様子。

プロバグループでは、これまでも、パチンコ

### アミューズメントのリハビリ効果は高い

諏訪東京理科大学 篠原菊紀教授

低下した高齢者にとってリハビリ効果が高い、と言えるのではないか。また、「法的・施設的な制約があるとは思いますが、こういう展開はぜひ進めてほしい。利用者だけではなく働く人にとっても良い効果がある。それが地域密着であり地域貢献の具体的な形ではないか」とプロバの新事業を高く評価した。



### スタッフの笑顔も増えた

プロバグループの支援事業を昨年12月から導入している、デイサービスセンター「おかけり」の施設長兼管理者である横引氏によると、利用開始してから様々な効果が表れているという。「ずっと頭痛に悩んでいたのに、アミューズメントマシンで遊ぶことで治ったという事例もあります」横引氏が何より評価するのは、施設利用者だ



全日遊連加盟営業店舗  
12月は31軒が新規出店  
総設置台数は年間最多を記録

日	総台数
56	4,210,716
56	4,229,473
56	4,221,451
50	4,212,976
50	4,223,321
50	4,224,397
50	4,220,320
50	4,223,657
50	4,227,878
56	4,223,789
56	4,211,709
56	4,224,665
56	4,241,494

やパチスロがリラックス効果や脳の活性化につながるという形で超高齢化社会に貢献する企業が出てきたことは、大きな前進だ」と今回の取組みを評価する。

プロバグループの平本直樹社長は「プロバグループがこの事業を行ううえで最大の強みは人材力。単に設備や仕組みを導入するだけではなく、問題点があれば施設の方と一緒に考えて改善していく。アフターケア

も含めて展開していきたい」と語る。

今後利用者の声や波などのデータを計し、3月から本格的にサービスを開始していく予定だ。FCを募り、広島を中心に全国的な展開視野に入れている。